

高校生のアルバイトに 関する調査

株式会社アイDEM

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10 アイDEM本社ビル

お問い合わせ

広報担当 / 栗木・望月・平沢 03-5269-8780 kouhousitu@aidem.co.jp

調査担当 / 小杉・古橋

目次

調査概要	・・・・・・・・	p. 3
1 進路の希望	・・・・・・・・	p. 4
2 アルバイトをする目的	・・・・・・・・	p. 5
3 アルバイトで経験した職種	・・・・・・・・	p. 6
4 現在のアルバイトの満足度	・・・・・・・・	p. 7
5 アルバイトで感じるやりがい	・・・・・・・・	p. 8
6 現在のアルバイト先をどのように見つけたか	・・・・・・・・	p. 9
7 応募前に行う追加の情報収集	・・・・・・・・	p. 10
8 親への相談	・・・・・・・・	p. 11
9 収入制限	・・・・・・・・	p. 12
10 アルバイト探しで重視する労働条件	・・・・・・・・	p. 13
11 アルバイト探しで重視するスタッフ情報	・・・・・・・・	p. 14
12 アルバイト探しで労働条件・スタッフ以外で重視する情報	・・・・・・・・	p. 15
13 バイト探しサイト・アプリやSNSで 「ここで働きたい」と思える写真や動画	・・・・・・・・	p. 16
14 契約書類の確認状況	・・・・・・・・	p. 17
15 アルバイトを始めるときに不安なこと	・・・・・・・・	p. 18
16 試験期間中のシフト制限	・・・・・・・・	p. 19
17 アルバイト先でのトラブル経験	・・・・・・・・	p. 20
18 アルバイト経験から得られたもの	・・・・・・・・	p. 21

調査概要

調査目的	高校生アルバイトの実態やアルバイト経験から得られるものについて聴取した。
調査対象	高校1年生から高校3年生で現在アルバイトをしている、または過去にアルバイト経験のある男女
調査方法	スマートフォン調査
調査期間	2025年6月27日～29日
有効回答	600名
回答者内訳	

学年	全体		男性		女性	
	n	%	n	%	n	%
高校1年生	70	11.7	28	9.3	42	14.0
高校2年生	207	34.5	115	38.3	92	30.7
高校3年生	323	53.8	157	52.3	166	55.3
計	600	100.0	300	100.0	300	100.0

居住地域	全体	
	n	%
北海道・東北地方	57	9.5
関東地方	261	43.5
中部地方	94	15.7
近畿地方	112	18.7
中国・四国地方	34	5.7
九州・沖縄地方	42	7.0
計	600	100.0

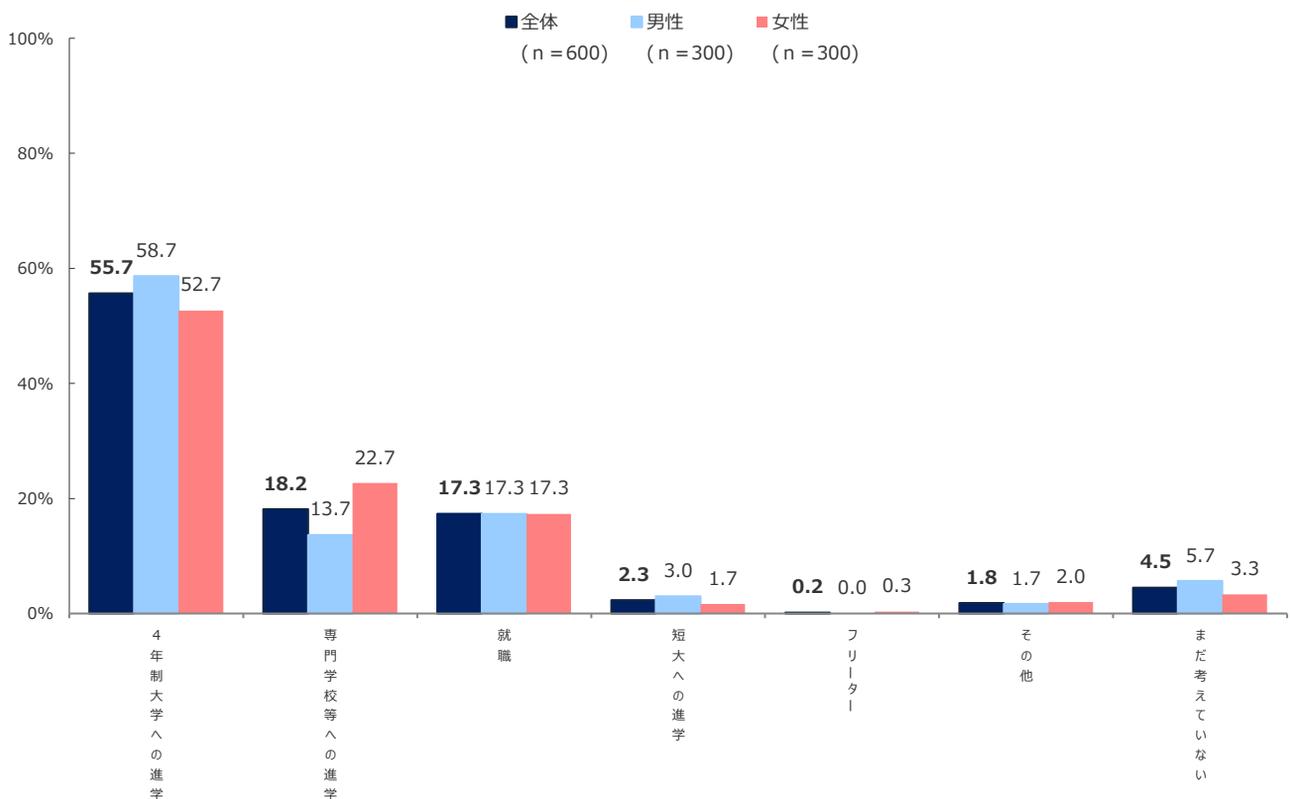
- 本調査は回答割合の表示において小数点以下第2位を四捨五入しているため、結果が100.0%にならない場合がある。
- 「平均回答個数」とは、複数回答形式の設問において各回答者が回答した選択肢の個数の平均を示す。

進路の希望

アルバイト経験のある高校生に、高校卒業後の進路を聞いたところ、「4年制大学への進学」が最も多く55.7%となった。次いで「専門学校等への進学」が18.2%、「就職」が17.3%となっている（図1）。

回答者の性別でみると、「4年制大学への進学」では男性58.7%、女性52.7%となり、男性の方が6.0ポイント割合が高かった。一方、「専門学校等への進学」は女性22.7%、男性13.7%と女性の方が9.0ポイント高くなっていた。なお、「就職」との回答では、男女差は見られなかった（図1）。

【図1】進路の希望

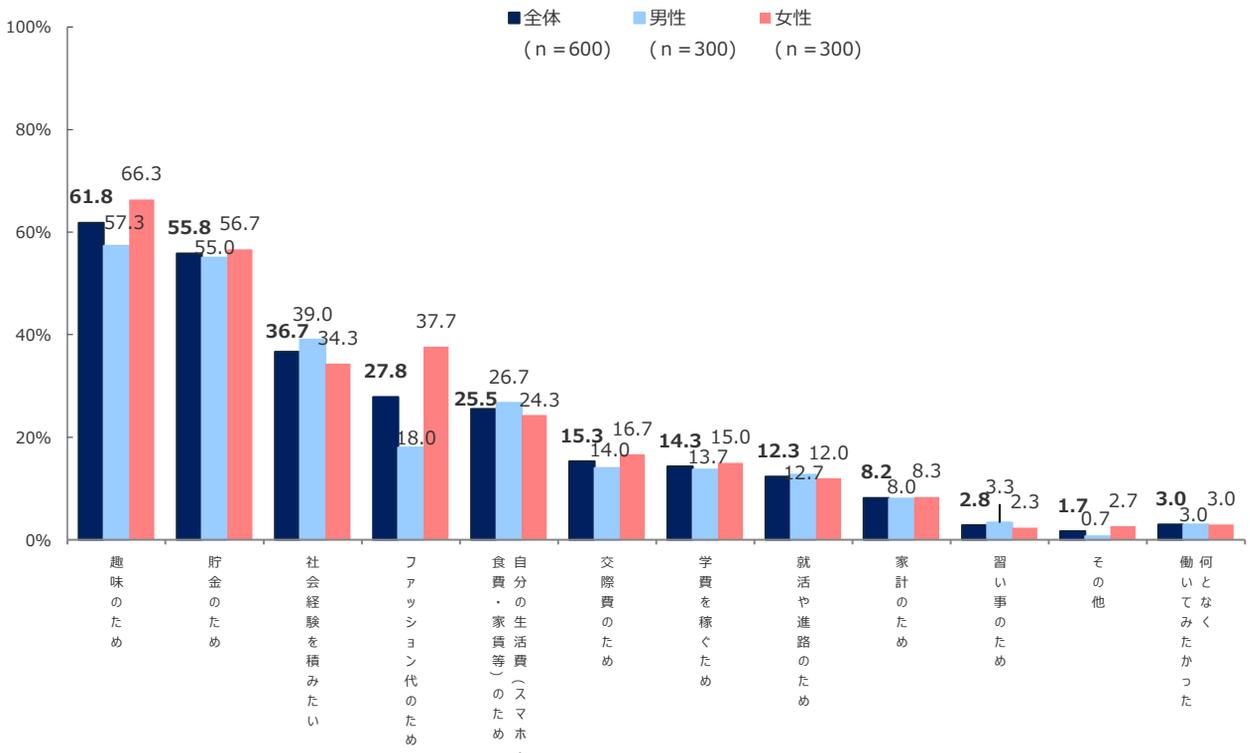


2 アルバイトをする目的

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトをする目的を聞いたところ、最も多かったのは「趣味のため」で61.8%に上った。次いで「貯金のため」55.8%、「社会経験を積みたい」36.7%、「ファッション代のため」27.8%、「自分の生活費（スマホ・食費・家賃等）のため」25.5%となっている（図2）。

回答者の性別でみると、女性は、男性に比べ「ファッション代のため」では19.7ポイント、「趣味のため」では9.0ポイント高くなっていた。一方、男性は、女性で3位に挙げられている「ファッション代のため」は5位に下がり、3位と4位に「社会経験を積みたい」「自分の生活費（スマホ・食費・家賃等）のため」が入っており、男女でアルバイトの目的が異なっている（図2）。

【図2】アルバイトをする目的



3

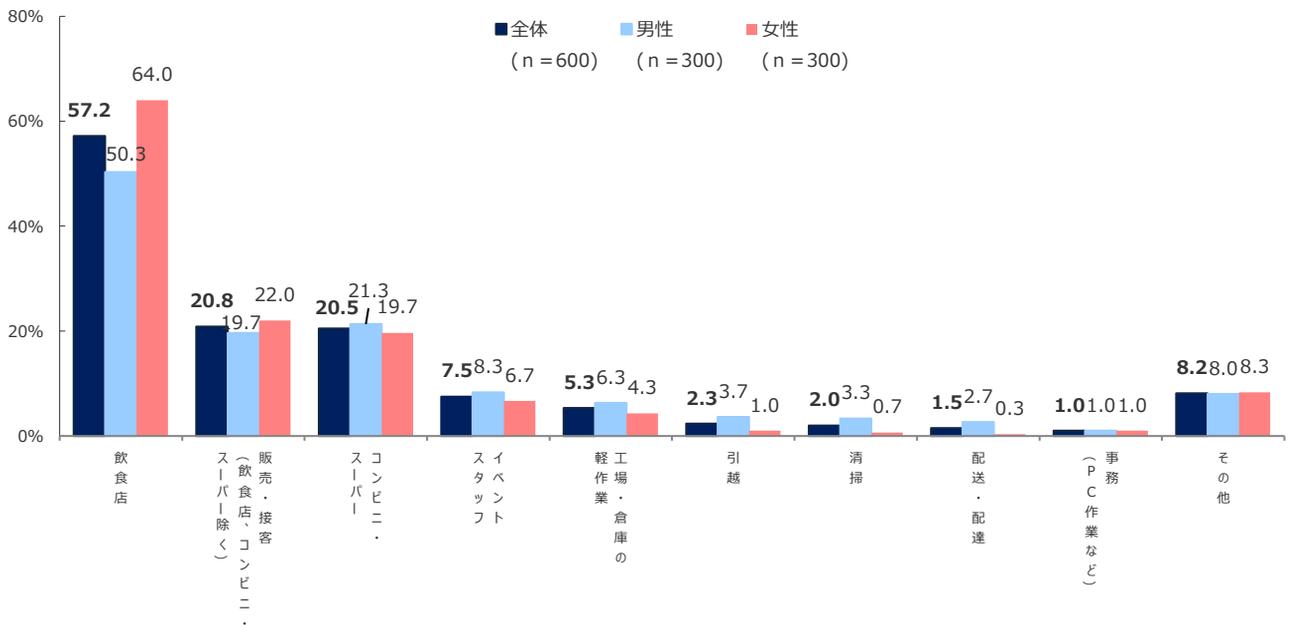
アルバイトで経験した職種

アルバイト経験のある高校生に、これまででどんなアルバイトをしてきたかを複数回答で聞いたところ、「飲食店」が最も多く57.2%となった。続いて、「販売・接客（飲食店、コンビニ・スーパー除く）」が20.8%、「コンビニ・スーパー」が20.5%となった（図3.1）。

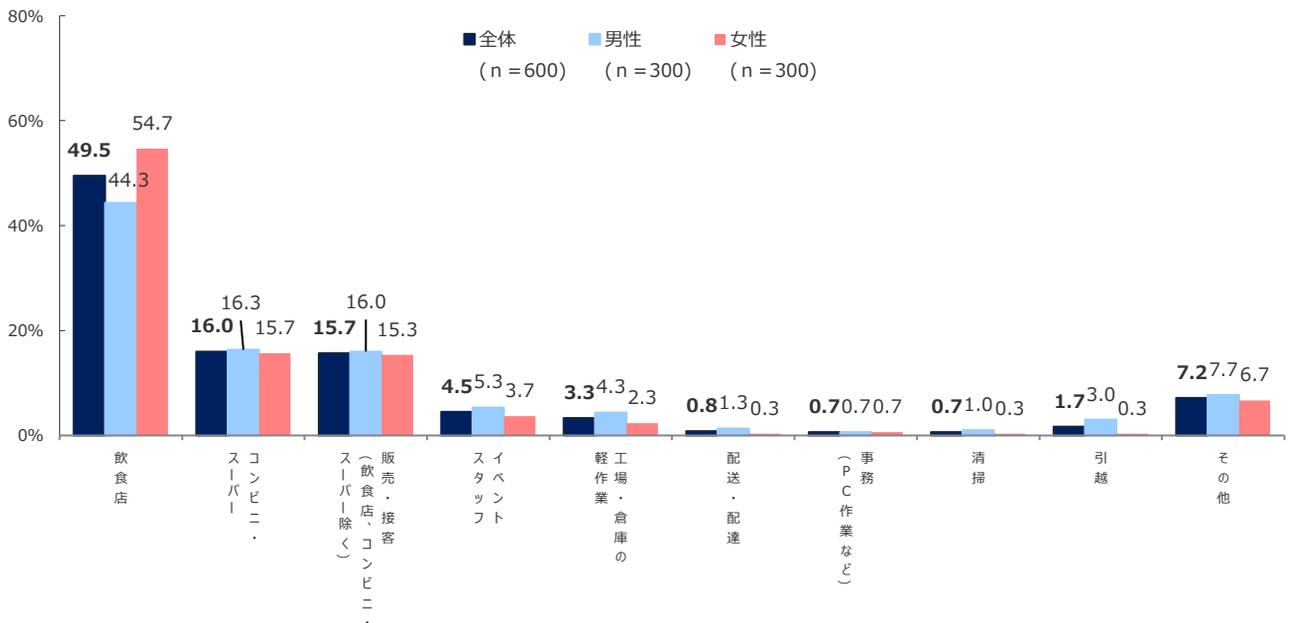
また、現在のアルバイト（複数あればメインを、現在アルバイトをしていない方は直近のもの）について聞いたところ、「飲食店」が最も多く49.5%、次いで「コンビニ・スーパー」が16.0%、「販売・接客（飲食店、コンビニ・スーパー除く）」が15.7%となり、この3種類のアルバイトが約8割を占めていた。

現在のアルバイトを回答者の性別でみると、「飲食店」で男性と女性に差が出ており、男性44.3%に対して女性は54.7%で、女性の方が飲食店で働く割合が10.4ポイント高くなっていた（図3.2）。

【図3.1】 経験したことのあるアルバイト：性別



【図3.2】 現在のアルバイト：性別



4

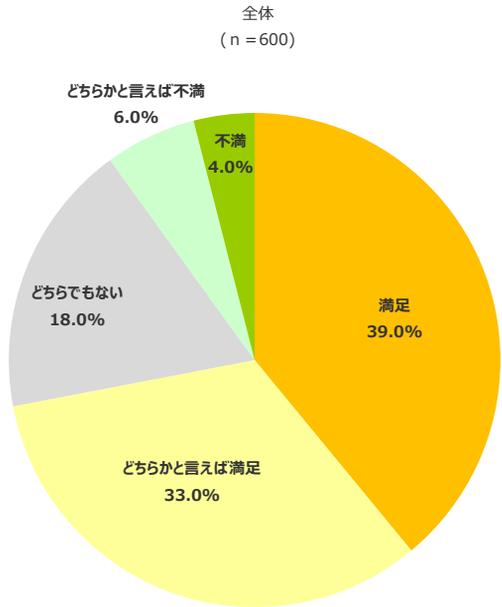
現在のアルバイトの満足度

アルバイト経験のある高校生に、現在のアルバイトの満足度を聞いた。「満足」は39.0%、「どちらかと言えば満足」は33.0%で、これらを合わせた「満足・計（以下同）」は72.0%に上った。一方、「どちらでもない」は18.0%、「どちらかと言えば不満」は6.0%、「不満」は4.0%となった（図4.1）。

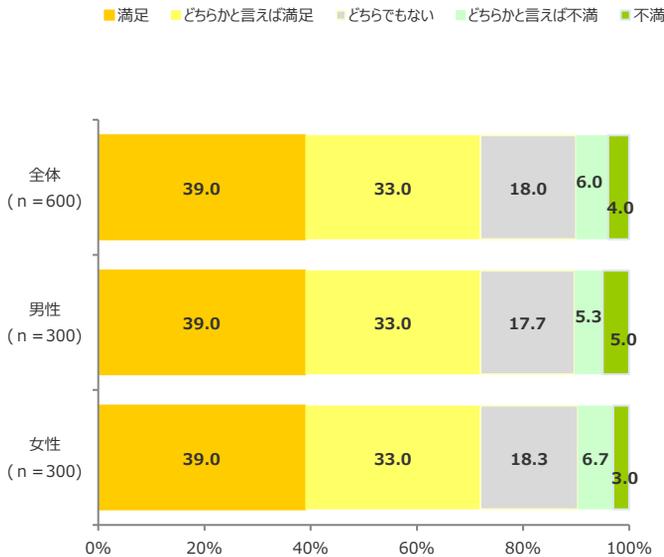
回答者の性別でみると、男女差はほとんどなかった（図4.2）。

現在のアルバイト別にみると、「満足・計」が高かったのは「コンビニ・スーパー」で76.1%、次いで「販売・接客（飲食店、コンビニ・スーパー除く）」75.6%となっていた（図4.3）。

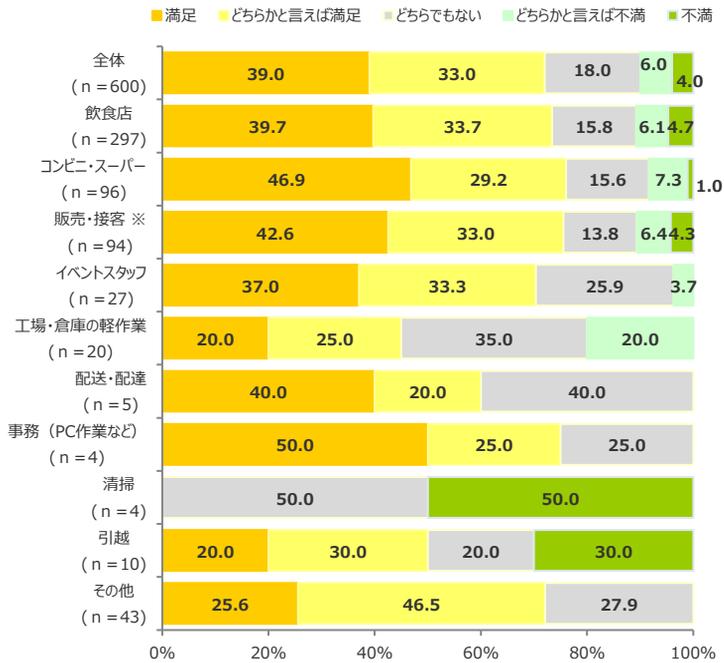
【図4.1】現在のアルバイトの満足度



【図4.2】現在のアルバイトの満足度：性別



【図4.3】現在のアルバイトの満足度：現在のアルバイト別



※「販売・接客」は飲食店、コンビニ・スーパーを除く

5

アルバイトで感じるやりがい

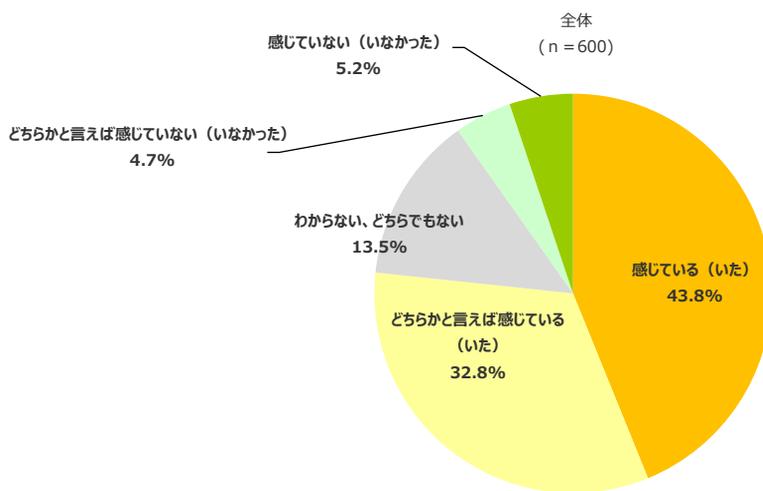
アルバイト経験のある高校生に、現在のアルバイト（現在アルバイトをしていない高校生は、直近のアルバイト）に「充実感」や「やりがい」を感じている（いた）かを聞いた。「感じている（いた）」は43.8%、「どちらかと言えば感じている（いた）」は32.8%となり、これらを合わせた「感じている・計（以下同）」は76.6%と8割弱に上った。一方、「わからない、どちらでもない」は13.5%、「どちらかと言えば感じていない（いなかった）」は4.7%、「感じていない（いなかった）」は5.2%となった（図5.1）。

回答者の性別でみると、「感じている・計」の回答は男性が73.7%、女性が79.7%で、女性の方が6.0ポイント高くなっていた（図5.2）。

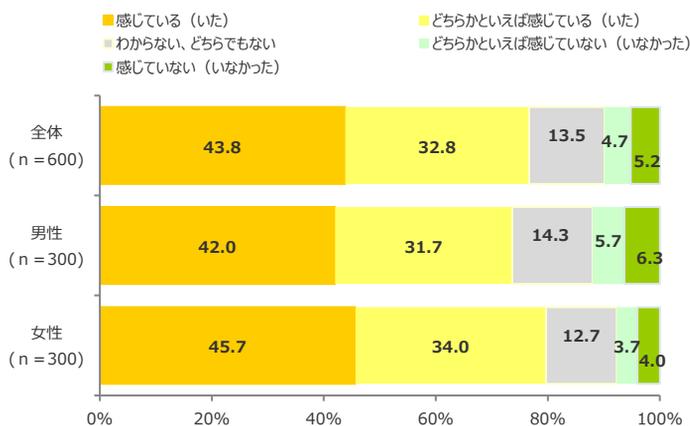
また、「4 現在のアルバイトの満足度」との関係を見ると、アルバイトに満足している「満足・計」の高校生では、充実感ややりがいを「感じている（いた）」が58.3%に上り、「どちらでもない/不満・計」の高校生6.5%に比べ、51.8ポイントもの開きがあった（図5.3）。

アルバイトへの満足度の違いで、充実感ややりがいの感じ方が大きく異なるようだ。

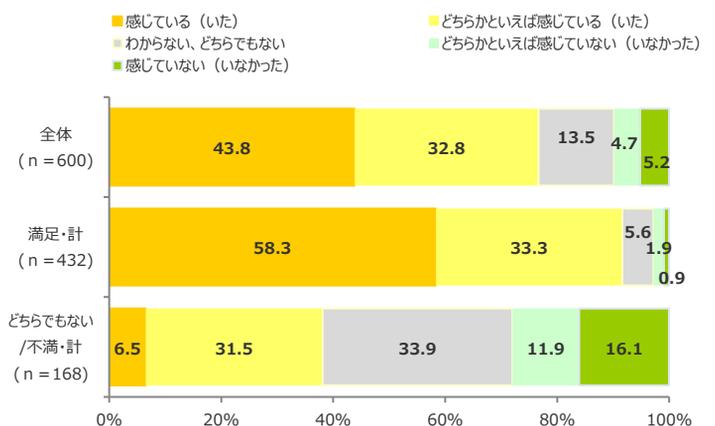
【図5.1】アルバイトで感じるやりがい



【図5.2】アルバイトで感じるやりがい：性別



【図5.3】アルバイトで感じるやりがい：満足度別



6

現在のアルバイト先をどのように見つけたか

アルバイト経験のある高校生に、現在のアルバイト先の情報を一番最初にどこで見つけたかを聞いた。

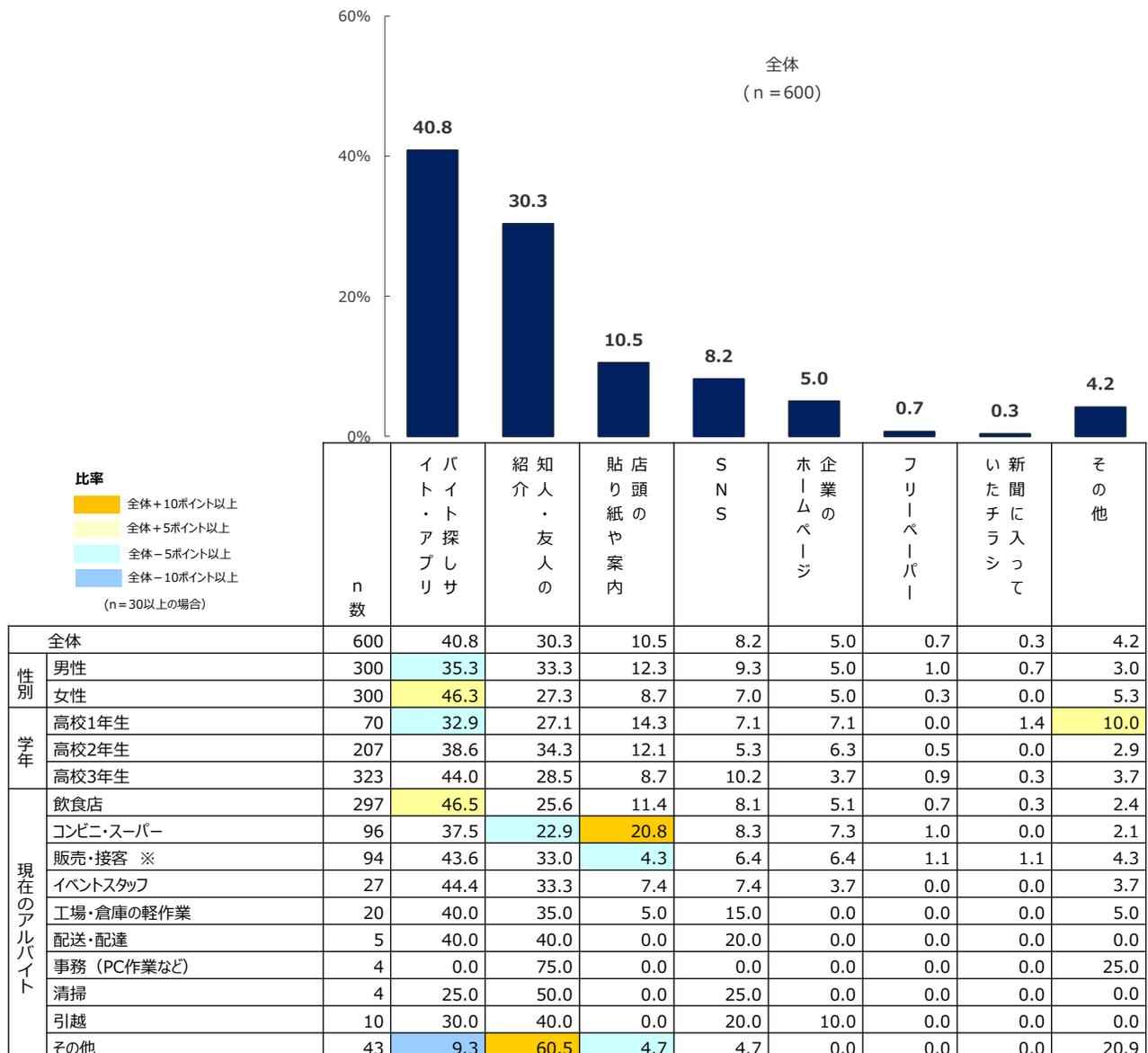
最も多かったのは「バイト探しサイト・アプリ」で40.8%、次いで「知人・友人の紹介」30.3%、「店頭の貼り紙や案内」10.5%、「SNS」8.2%となっている（図6）。

回答者の性別でみると、「バイト探しサイト・アプリ」は男性35.3%に対して、女性は46.3%と女性の方が男性より11.0ポイント高くなっていった（図6）。

また学年別でみると、「バイト探しサイト・アプリ」は学年が上がるほど回答割合が高くなり、活用している様子が見えてくる（図6）。

現在のアルバイト別に見ると、「飲食店」では「バイト探しサイト・アプリ」で見つけた高校生の割合が46.5%と高い。また「コンビニ・スーパー」では「店頭の貼り紙や案内」が20.8%と全体計の約2倍の回答割合に上り、日々店舗を利用する中で求人を目を留めた様子が見えてくる（図6）。

【図6】現在のアルバイト先をどのように見つけたか：性別



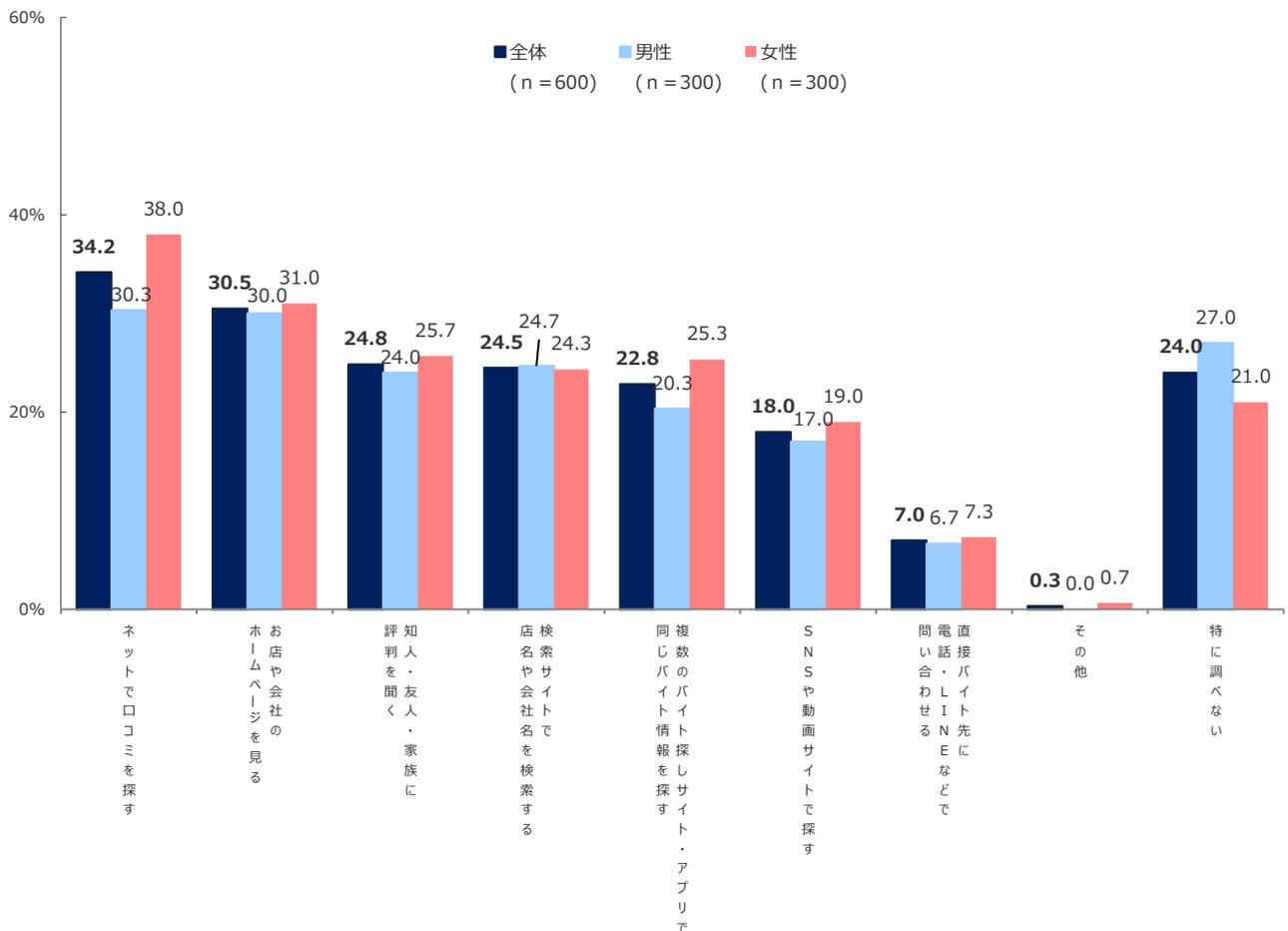
※「販売・接客」は飲食店、コンビニ・スーパーを除く

応募前に行う追加の情報収集

アルバイト経験のある高校生に、気になるバイトを見つけたとき、見つけたサイトや投稿以外にも、応募前に追加でそのバイト先について調べるか、また調べる場合どうやって調べるかを聞いた。最も多かったのは、「ネットで口コミを探す」で34.2%、次いで「お店や会社のホームページを見る」が30.5%、「知人・友人・家族に評判を聞く」が24.8%、「検索サイトで店名や会社名を検索する」が24.5%、「複数のバイト探しサイト・アプリで同じバイト情報を探す」が22.8%となった。「特に調べない」は24.0%で、応募前に追加で情報収集をする高校生は76.0%と8割弱に上る（図7）。

回答者の性別でみると、応募前に追加で情報収集をする傾向は女性の方で強く、「検索サイトで店名や会社名を検索する」以外は、女性の方が男性よりも回答割合が高い。なかでも、「ネットで口コミを探す」では男性に比べ女性の方が7.7ポイント、「複数のバイト探しサイト・アプリで同じバイト情報を探す」では女性の方が5.0ポイント高くなっていった（図7）。

【図7】 応募前に行う追加の情報収集：性別

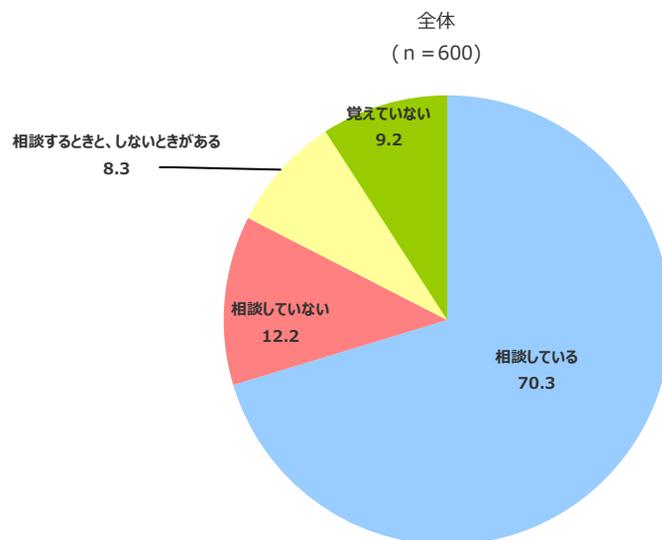


親への相談

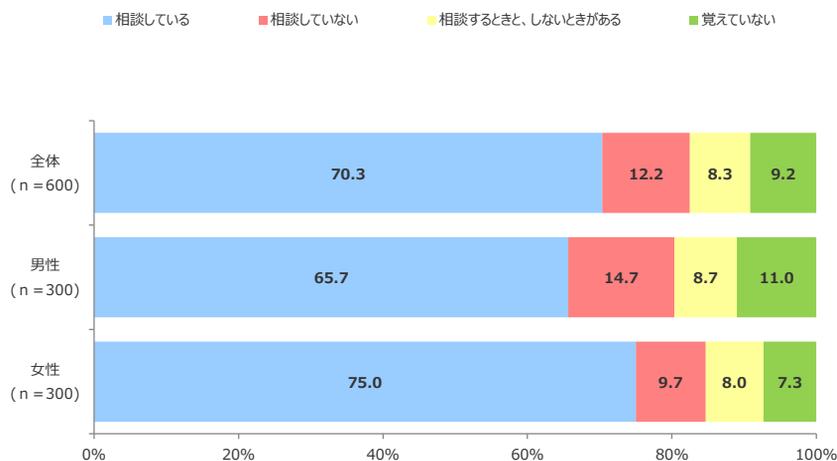
アルバイト経験のある高校生に、応募前から働くことが決まるまでの間に親に相談しているかを聞いた。「相談している」が70.3%、「相談していない」が12.2%、「相談するときと、しないときがある」が8.3%、「覚えていない」が9.2%となった（図8.1）。

回答者の性別でみると、「相談している」は男性で65.7%、女性で75.0%となり、男性より女性の方が親に相談している割合が9.3ポイント高くなった（図8.2）。

【図8.1】 親への相談

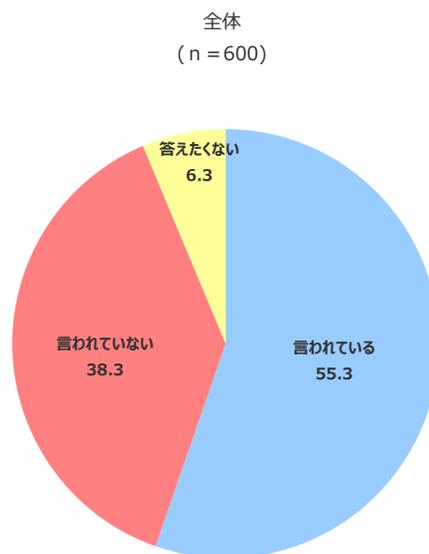


【図8.2】 親への相談：性別



アルバイト経験のある高校生に、親から年間103万円以上、または130万円以上はバイトしないように言われているかを聞いた。「言われている」が55.3%、「言われていない」が38.3%という結果となった（図9）。

【図9】 親から、年間103万円以上、または130万円以上はバイトしないように言われているか



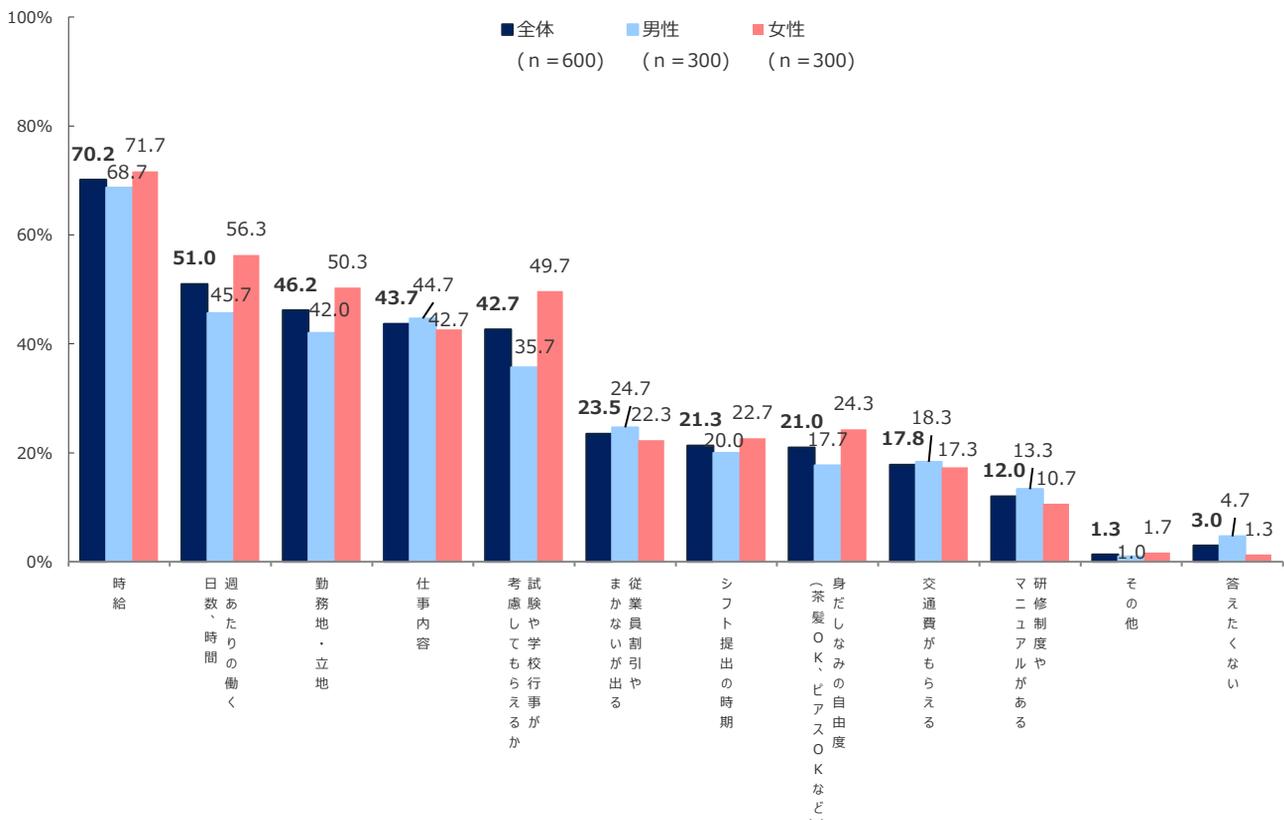
アルバイト探しで重視する労働条件

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトを探すときにどんな条件を重視するかを聞いた。最も多かったのが「時給」で70.2%、次いで「週あたりの働く日数、時間」51.0%、「勤務地・立地」46.2%、「仕事内容」43.7%、「試験や学校行事が考慮してもらえるか」42.7%となっている（図10）。

回答者の性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が回答割合が高くなっており、重視ポイントが多い傾向がある。なかでも、「試験や学校行事が考慮してもらえるか」、「週あたりの働く日数、時間」は、男性に比べ女性の方がそれぞれ14.0ポイント、10.6ポイント割合が高くなっていた。また、女性においては「試験や学校行事が考慮してもらえるか」は、「仕事内容」よりも回答割合が7.0ポイント高くなっており、「どんなアルバイトをするか」よりも、「学業との調整ができるか」の方がより重要なようだ（図10）。

また、「7 応募前に行う追加の情報収集」において、女性の方が様々な手段で情報を収集している傾向があった。こういった労働条件についても、自分の知りたい情報を求めてより詳しく調べているのかもしれない。

【図10】アルバイト探しで重視する労働条件：性別



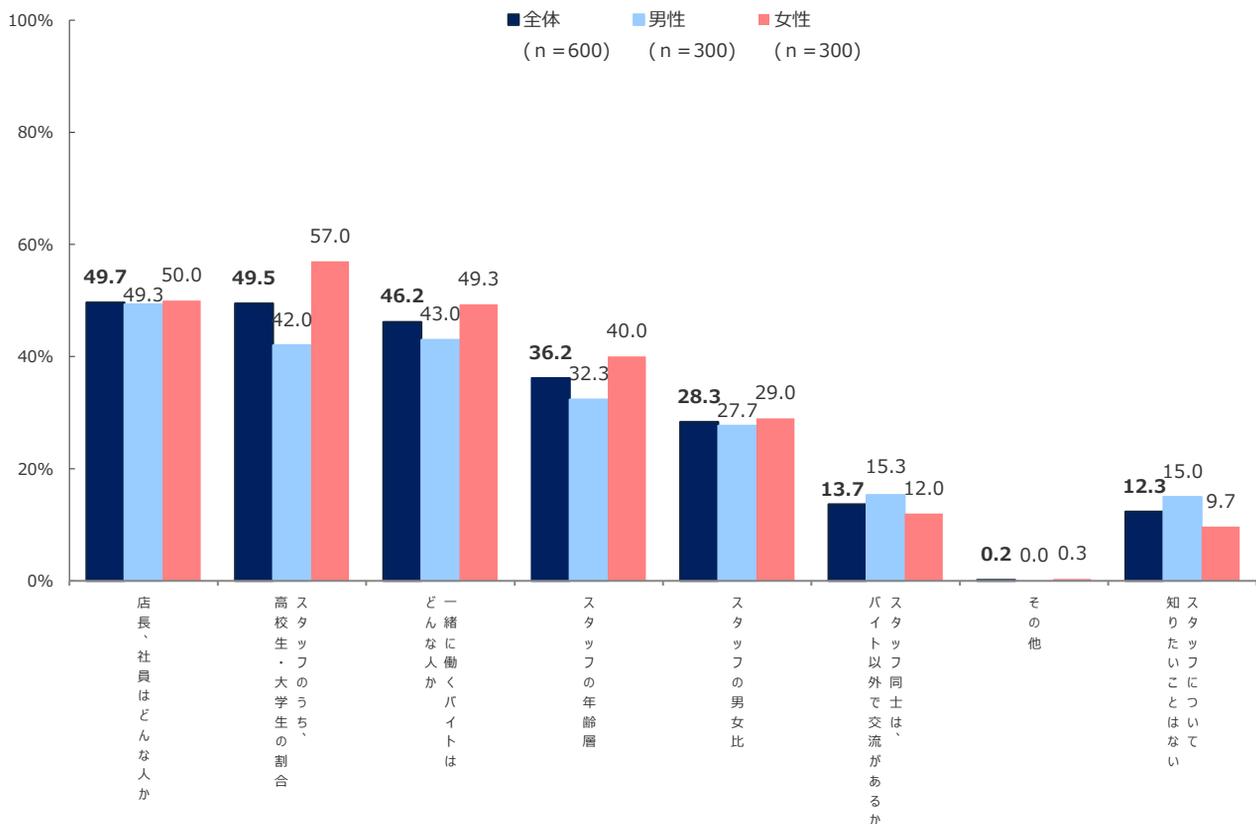
アルバイト探しで重視するスタッフ情報

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトを探すときにバイト先のスタッフのどんなことが知りたいかを聞いた。最も多かったのが「店長、社員はどんな人か」で49.7%、次いで「スタッフのうち、高校生・大学生の割合」が49.5%、「一緒に働くバイトはどんな人か」が46.2%、「スタッフの年齢層」が36.2%となった。一方、「スタッフについて知りたいことはない」は12.3%だった（図11）。

回答者の性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が回答割合が高くなっている。なかでも、「スタッフのうち、高校生・大学生の割合」については、女性では57.0%で1位となっている。男性との差も15.0ポイントあり、女性では他の学生バイトの状況が特に気になるようだ（図11）。

また、「7 応募前に行う追加の情報収集」において、女性の方が様々な手段で情報を収集している傾向があった。こういったスタッフに関する情報についても、自分の知りたい情報を求めてより詳しく調べているのかもしれない。

【図11】アルバイト探しで重視するスタッフ情報：性別



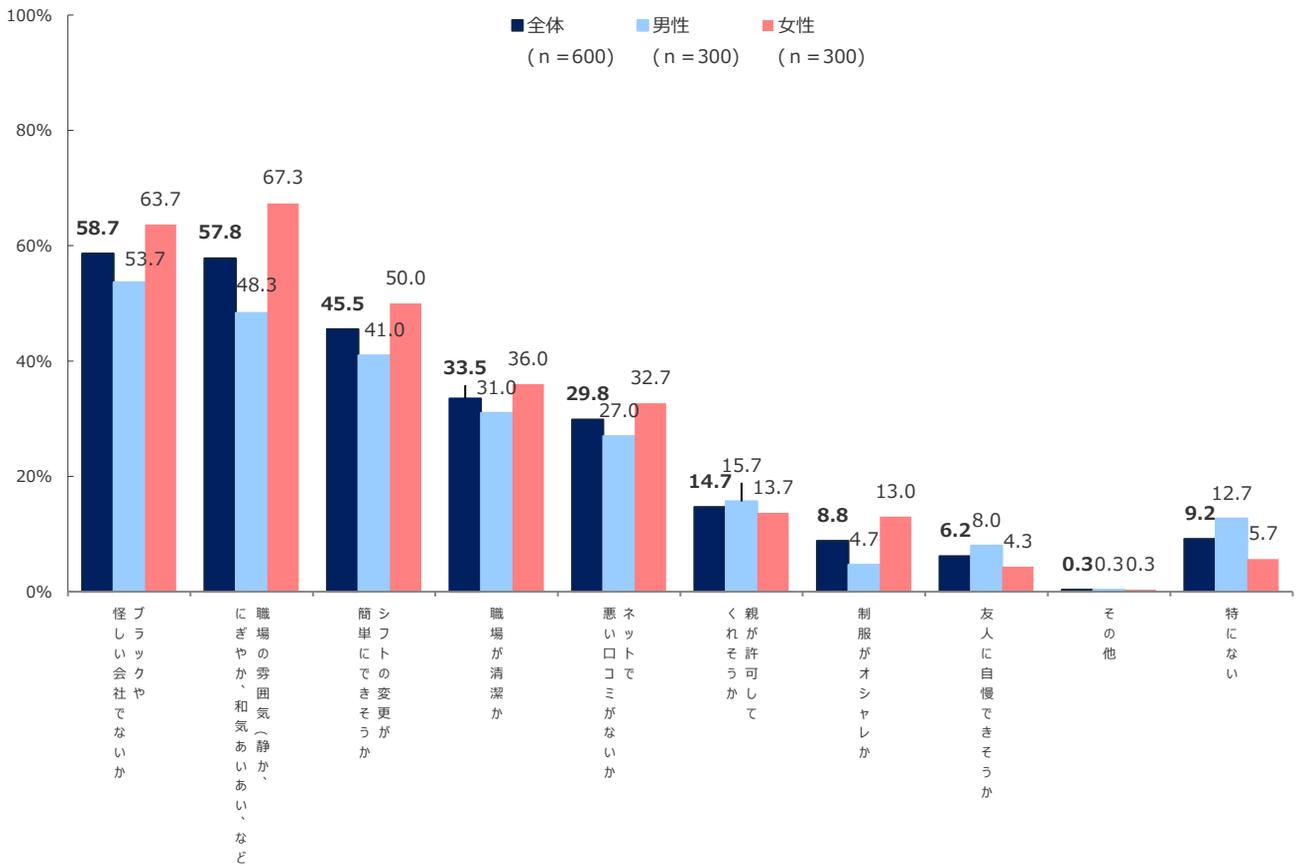
アルバイト探して 労働条件・スタッフ以外で重視する情報

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトを探すときに「働く条件やスタッフの情報」以外のどんなことが気になるかを聞いた。「ブラックや怪しい会社でないか」が最も多く58.7%、次いで「職場の雰囲気（静か、にぎやか、和気あいあい、など）」が57.8%、「シフトの変更が簡単にできそうか」が45.5%、「職場が清潔か」が33.5%、「ネットで悪い口コミがないか」が29.8%となった（図12）。

回答者の性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が回答割合が高くなっている。男性より女性の方が回答割合が特に高い項目は「職場の雰囲気（静か、にぎやか、和気あいあい、など）」で19.0ポイント、「ブラックや怪しい会社でないか」で10.0ポイントの差が開いていた。また、女性では「制服がオシャレか」の回答割合が高いのも特徴的である（図12）。

また、「7 応募前に行う追加の情報収集」において、女性の方が様々な手段で情報を収集している傾向があった。こういった労働条件やスタッフ以外の職場に関する情報についても、自分の知りたい情報を求めてより詳しく調べているのかもしれない。

【図12】アルバイト探して労働条件・スタッフ以外で重視する情報：性別



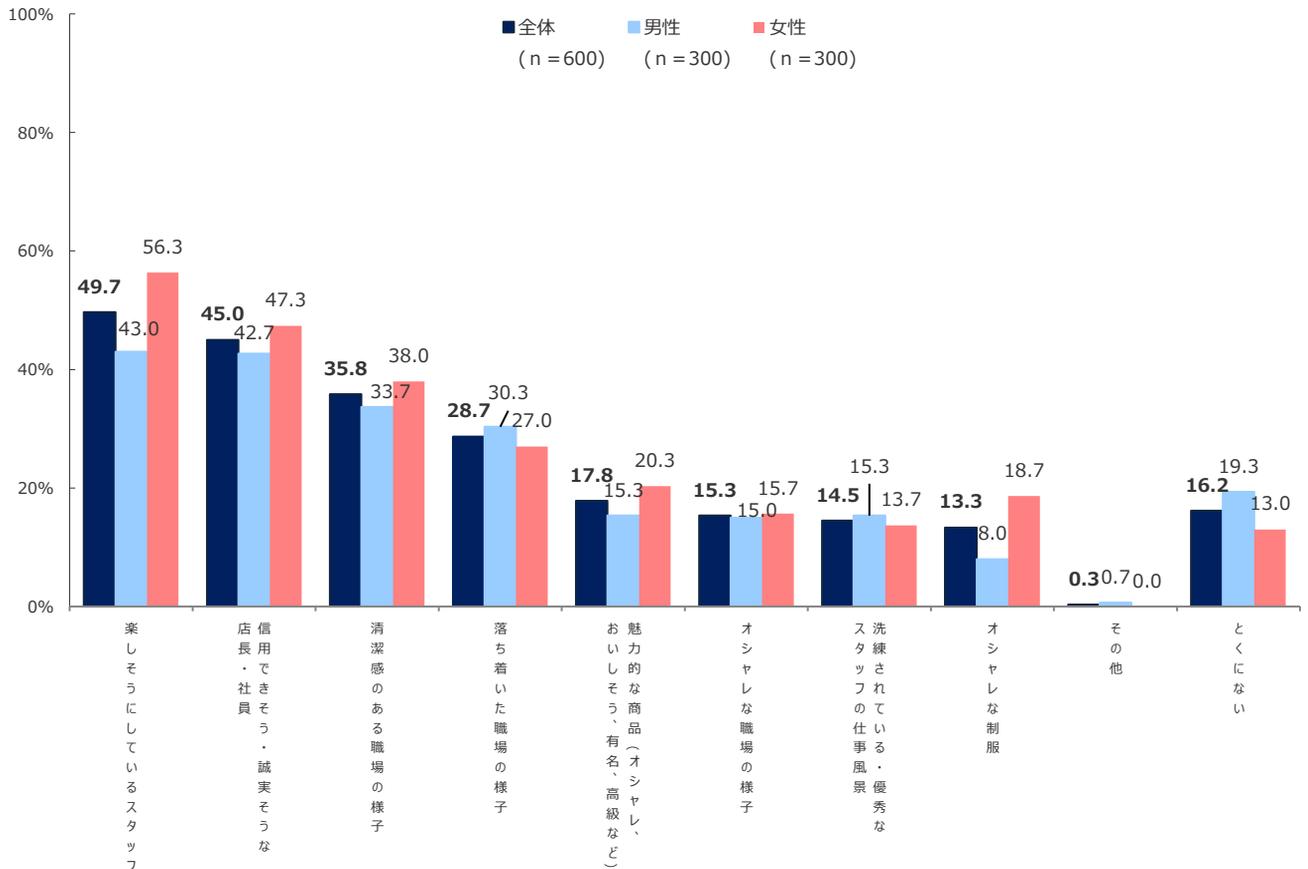
バイト探しサイト・アプリやSNSで 「ここで働きたい」と思える写真や動画

アルバイト経験のある高校生に、「バイト探しサイト・アプリ」や「SNS」を見て、どんな写真や動画があれば「ここで働きたい」と思うかを聞いた。「楽しそうにしているスタッフ」が最も多く49.7%、次いで「信用できそう・誠実そうな店長・社員」が45.0%、「清潔感のある職場の様子」が35.8%、「落ち着いた職場の様子」が28.7%となった。職場の環境・設備はもちろんだが、それ以上に、一緒に働くスタッフや雰囲気などを知ること、応募意欲・入社意欲が高まるようだ（図13）。

回答者の性別でみると、上位3項目は男性より女性の方が回答割合が高く、「楽しそうにしているスタッフ」では13.3ポイント、「信用できそう・誠実そうな店長・社員」では4.6ポイント、「清潔感のある職場の様子」では4.3ポイントの差があった。

また、女性においては、「12 アルバイト探しで労働条件・スタッフ以外で重視する情報」と同様に「オシャレな制服」の回答割合が高いのも特徴的である（図13）。

【図13】バイト探しサイト・アプリやSNSで「ここで働きたい」と思える写真や動画：性別



契約書類の確認状況

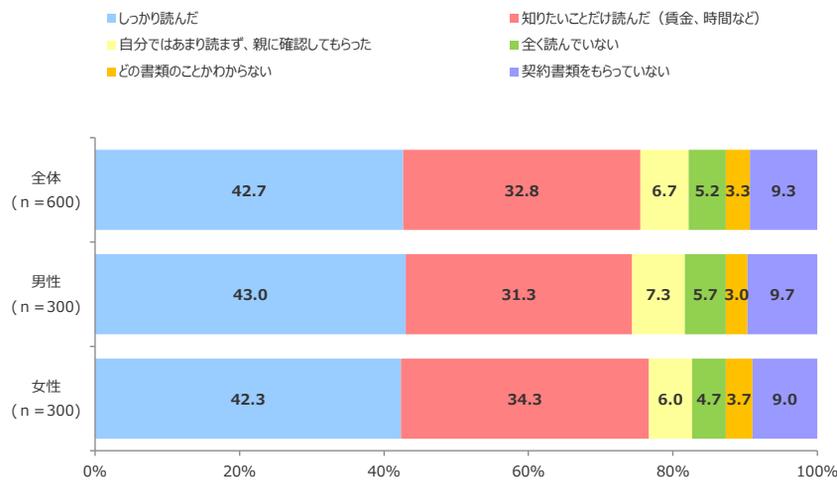
アルバイト経験のある高校生に、現在のアルバイト先が決まった時に契約書類を読んだかを聞いた。「しっかり読んだ」は42.7%と約4割に留まり、「知りたいことだけ読んだ（賃金、時間など）」が32.8%、「自分ではあまり読まず、親に確認してもらった」が6.7%、「全く読んでいない」が5.2%、「どの書類のことかわからない」が3.3%、「契約書類をもらっていない」が9.3%となった。

回答者の性別では、大きな差は見られなかった（図14.1）。

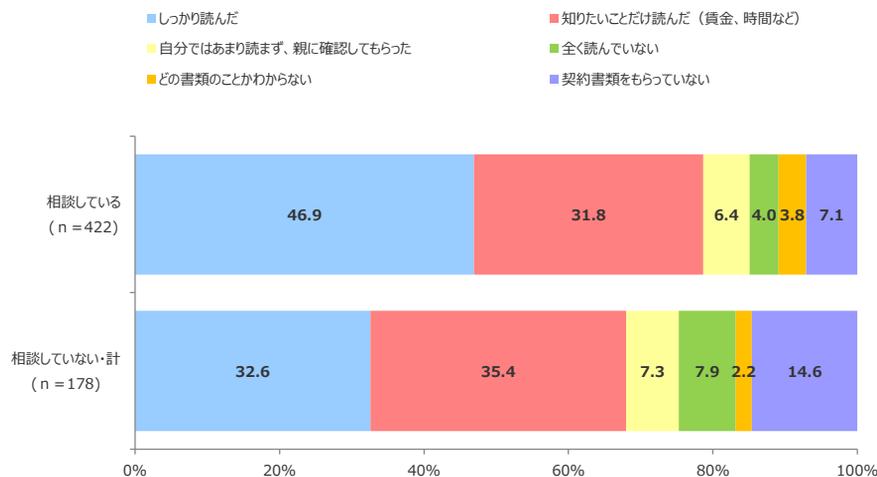
「8 親への相談」との関係を見ると、契約書類を「しっかり読んだ」との回答は、バイト先への応募から働くことが決まるまでの間で親に「相談している」高校生では46.9%、「相談していない・計※」高校生では32.6%となり、親に相談している高校生の方が14.3ポイント高くなっている。親に相談している高校生は、親から契約書類はしっかり読むようにアドバイスされているのかもしれない（図14.2）。

※相談していない・計：「相談していない」「相談するときと、しないときがある」「覚えていない」の合計

【図14.1】契約書類の確認状況：性別



【図14.2】契約書類の確認状況：親への相談有無別

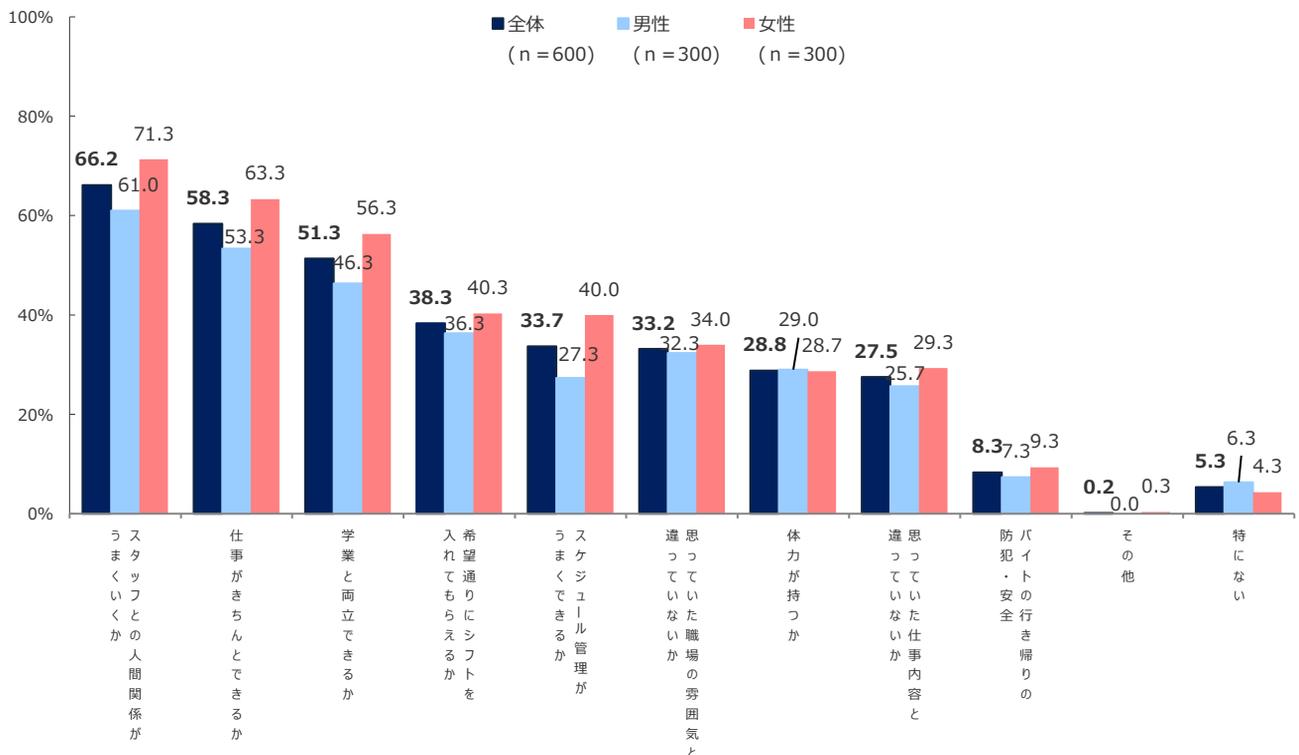


アルバイトを始めるときに不安なこと

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトを始めるときはどんなことが不安かを聞いた。最も多かったのは「スタッフとの人間関係がうまくいくか」で66.2%、次いで「仕事がきちんとできるか」が58.3%、「学業と両立できるか」が51.3%、「希望通りにシフトを入れてもらえるか」が38.3%、「スケジュール管理がうまくできるか」が33.7%となった。

回答者の性別でみると、多くの項目で男性より女性の方が回答割合が高くなっており、不安を多く抱えている。特に、「スケジュール管理がうまくできるか」で12.7ポイント、「スタッフとの人間関係がうまくいくか」で10.3ポイント、「仕事がきちんとできるか」「学業と両立できるか」でそれぞれ10.0ポイント、男性よりも女性の方が回答割合が高くなっていた。また、女性は「10 アルバイト探しで重視する労働条件」において、「試験や学校行事が考慮してもらえるか」を気にしている傾向が男性よりも強かったが、ここでもあらためて、スケジュール管理や学業との両立に懸念を抱いている様子がうかがえた（図15）。

【図15】アルバイトを始めるときに不安なこと：性別



試験期間中のシフト制限

アルバイト経験のある高校生に、試験期間中はアルバイトのシフトにあまり入らないよう制限をしているか（予定も含める）を聞いた。「必ず制限している」が46.0%、「制限することが多い」が28.0%となり、これらを合わせた「制限している・計（以下同）」は74.0%と7割強に上る。一方、「あまり制限することはない」は13.7%、「まったく制限しない」は12.3%となった。

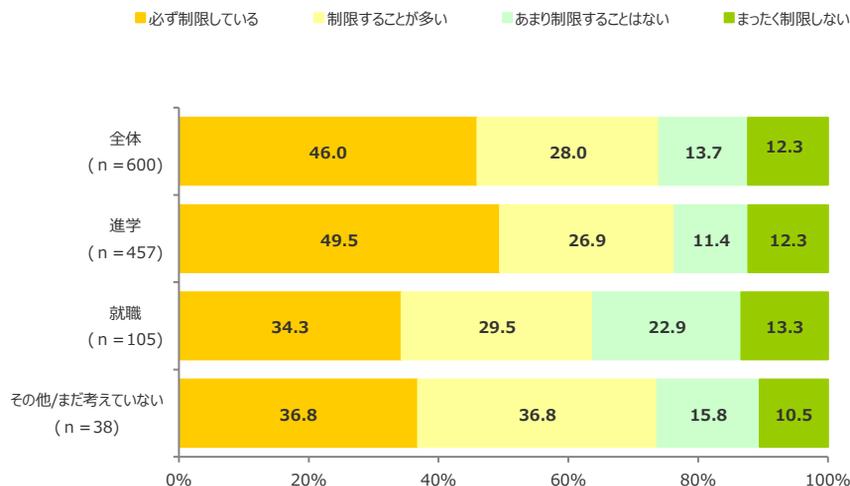
回答者の性別でみると、「制限している・計」は男性で71.3%、女性で76.7%となり、女性の方が試験期間中のシフトを制限している割合は高くなった。女性は、「10 アルバイト探しで重視する労働条件」において「試験や学校行事が考慮してもらえるか」を重視していただけであり、試験期間中は学業に集中したい様子がうかがえる（図16.1）。

また、進路希望別に試験期間中のシフト制限との関係を見ると、「進学」希望者は「就職」希望者や「その他/まだ考えていない」者よりも、「必ず制限している」割合が高くなっていた（図16.2）。

【図16.1】試験期間中のシフト制限：性別



【図16.2】試験期間中のシフト制限：進路希望別



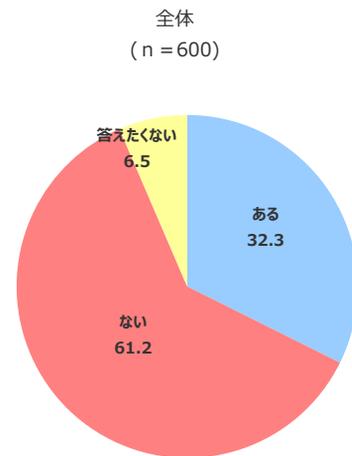
アルバイト先でのトラブル経験

アルバイト経験のある高校生に、アルバイトをする中で「困ったこと」や「トラブルの経験」があるかを聞いた。「ある」と回答した高校生は32.3%、「ない」と回答した高校生は61.2%となった（図17.1）。

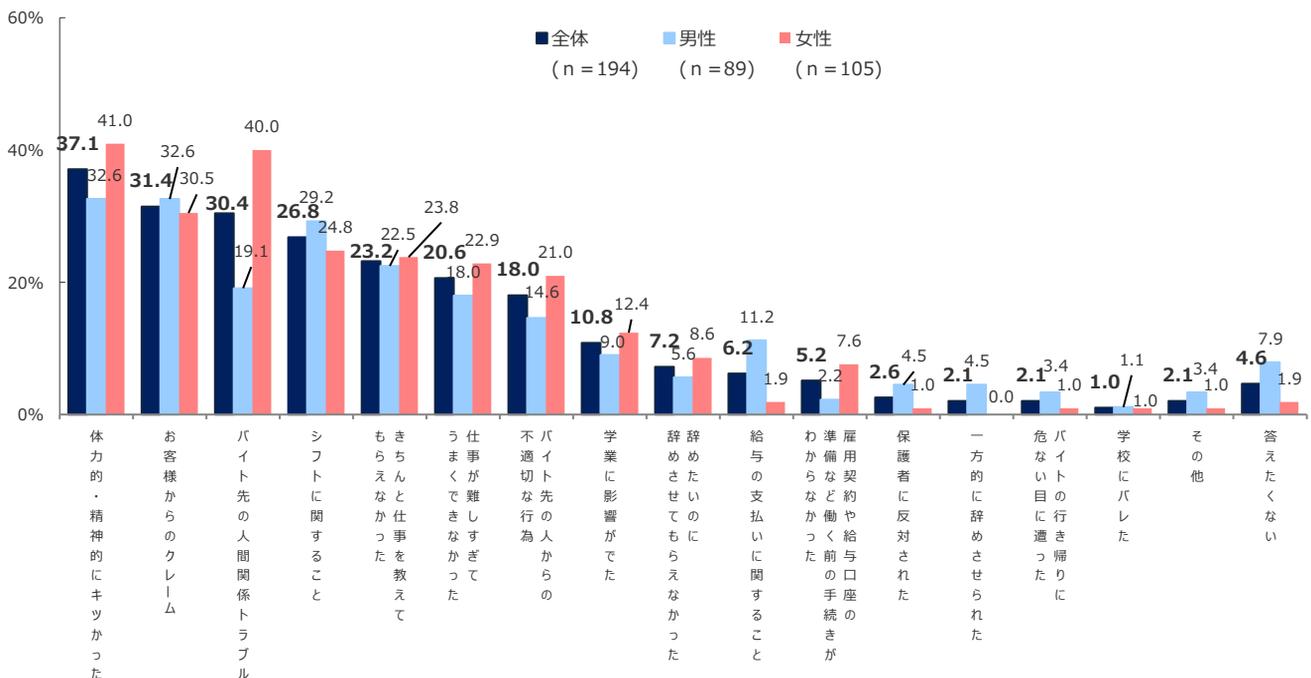
「ある」と回答した高校生に、「困ったこと」や「トラブルの経験」について、具体的な内容を複数回答で選択してもらった。最も多かったのは「体力的・精神的にキツかった」で37.1%、次いで「お客様からのクレーム」が31.4%、「バイト先の人間関係トラブル」が30.4%、「シフトに関すること」が26.8%、「きちんと仕事を教えてもらえなかった」が23.2%、「仕事が難しすぎてうまくできなかった」が20.6%、「バイト先の人からの不適切な行為」が18.0%となった（図17.2）。

回答者の性別でみると、男性と女性で回答割合に大きな差がある項目は、「バイト先の人間関係トラブル」で、男性19.1%に対して女性は40.0%と、男性よりも20.9ポイントも高くなっていた。また、「体力的・精神的にキツかった」と「バイト先の人からの不適切な行為」も、女性の方が男性よりもそれぞれ8.4ポイント、6.4ポイント回答割合が高くなっていた（図17.2）。

【図17.1】アルバイト先でのトラブル経験の有無



【図17.2】アルバイト先でのトラブルの内容：性別



アルバイト経験から得られたもの

アルバイト経験のある高校生に、「お金以外」でアルバイトで得られたものは何かを聞いた。最も多かったのは、「お金を稼ぐ大変さがわかった」で49.8%、次点は「敬語や社会人マナーを学べた」が48.5%、「自身の成長につながった（コミュカや度胸など）」が45.3%となり、この3項目が特に回答を集めている。次いで、「交友関係が広がった」が29.8%、「働く楽しさを知った」が28.3%、「お店や働く人への敬意が生まれた」が26.8%、「お金を大切に使うようになった」が26.5%と続いている（図18）。

「1 進路の希望」との関係を見ると、進路が「就職」の高校生では、「進学」希望の高校生に比べて「将来の進路選択に役立った」が9.4ポイント、「自分に自信がついた」が9.2ポイント、「社会の厳しさを知った」が8.6ポイント、「働く楽しさを知った」が8.4ポイント高くなっていた。就職希望者にとって、アルバイト経験は就職や将来について身近に感じる機会となっている（図18）。

「3 現在のアルバイトの満足度」との関係を見ると、「満足・計」の回答者は、「どちらでもない/不満・計」の回答者に比べて、多くの項目で回答割合が高くなっている。特に「敬語や社会人マナーを学べた」「自身の成長につながった（コミュカや度胸など）」「交友関係が広がった」「働く楽しさを知った」の項目では20ポイント以上の差が開いている（図18）。

「5 アルバイトで感じるやりがい」との関係を見ると、やりがいを「感じている・計」の高校生は、やりがいを「どちらでもない/感じていない・計」の高校生に比べて、多くの項目で回答割合が高い。前述の満足度との関係で触れた4項目に加えて、「お金を稼ぐ大変さがわかった」も含めた5項目において20ポイント以上の差が開いていた（図18）。

【図18】アルバイト経験から得られたもの

